

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	経営ビジネス学科						
科目名	基礎経済学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修科目(経営プランニングコース)／必修科目(地域マネジメントコース)／必修科目(スポーツマネジメントコース)						
担当者	飯島 高雄						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の日本経済の景気変動が説明できる。</li> <li>・財政及び金融部門が抱える問題とその施策が説明できる。</li> <li>・国際経済の動向と日本の貿易・為替制度が説明できる。</li> <li>・日本企業が直面する経済の構造変化とその対応が説明できる。</li> </ul>						
日程と内容	4/11 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 4/18 戦後日本経済の概略 戦後の金利、為替、株価 4/25 高度成長期 バブルの時代 5/ 2 長期低迷の時代 リーマン・ショック 5/ 9 欧州財政危機 日本の人口構造 5/16 家計消費と失業 雇用と失業 5/23 増加する非正規雇用 物価と時価 5/30 社会保障の現状 少子高齢化問題 6/ 6 企業の姿 日本の経営 6/13 食料問題 エネルギー問題 6/20 金融の役割 貿易構造の変化 7/ 4 日本の国際収支 日本の財政 7/11 財政赤字 為替の変動 7/11 (6/30補講) デフレ 日本のGDP 7/18 期末試験 7/25 講評						
成績評価基準	定期試験	80%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	20%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の日本経済の景気変動が説明できる。：達成した</li> <li>・財政及び金融部門が抱える問題とその施策が説明できる。：達成した</li> <li>・国際経済の動向と日本の貿易・為替制度が説明できる。：達成した</li> <li>・日本企業が直面する経済の構造変化とその対応が説明できる。：達成した</li> </ul>						
反省点	・1回あたりの講義内容が多かった。						
来年度の計画	・ポイントを絞って講義を行うことにする。						
授業評価アンケートに対するコメント	・来年度は、テーマを絞り一緒に考えながら進めていく講義にしたい。						
履修登録者数	116名	定期試験 受験者数	110名	合格者数	109名	合格率	99%